



2008/09 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2198 回例会 2008 年 12 月 24 日(木) SAA / 澤井会員 会報担当 / 蔵内会員

例会会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



点 鐘 市原 RC 会長 藤谷泰弘
ソング それでこそロータリー
お客様 市原市環境部長 大沢孝文様
地球温暖化対策班リーダー 石川尋志様
会長挨拶 市原 RC 会長 藤谷泰弘



みなさんこんにちは。

大沢様、石川様、お出でくださりありがとうございます。今日は今年最後の例会でございます。

そこで市原市環境部長 大沢様に市原市の環境につきましてお話しをいただきます。環境にも、経済環境や、社会環境、生活環境や家庭環境、そして自然環境と多々ありますが、人が生きて行くのに最も大切な自然からの恩恵や恵の源について、多めに触れていただければと楽しみにしております。

どうぞ宜しくお願いいたします。

幹事報告 幹事 小川長二

今年半期お世話になりました。来年も宜しくお願い致します。来年の第 1 例会は 1 月 14 日(水)になります。

委員会報告 篠田親睦委員長

第 2200 回例会は 1 月 21 日(水)18:00 より淡粋にて開催されます。

卓話 「市原市の環境施策」



市原市環境部長
大沢孝文様



グループリーダー
石川尋志様

市原市の公害問題の始まりは、地下水の枯渇でした。臨海部に工場群が進出し、地下水を大量に取水したことが原因で、以後、化石燃料の燃焼により排出される亜硫酸ガス(二酸化硫黄)による特産の梨など農作物への被害、姉崎神社の森などの植物被害や水稻の塩害などが有りました。行政指導や「環境に配慮できない企業は生き残れない」と言った企業意識の高まりから、東京湾の水質が改善され、富士山が見える日が増え大気がきれいになったと言う実感が持てるようになりました。

その後、市内に 30 を超すゴルフ場からの農薬問題があり、行政指導や協定の締結により農薬問題を解決してきましたが、多くの自然が失われたことは残念なことです。しかしながら一方で、市の地形や位置は、産業廃棄物の処分場(不法投棄も多数みられる)や残土処分場に適した地形であることから、ゴルフ場の多くが処分場や不法投棄の場にならなかったことは、幸いしたような複雑な心境です。

現在、ごみ対策と地球温暖化対策を主に環境施策を進めております。主な施策は、次の 5 施策です。

1 「市原市循環型社会づくり構想」

(平成 18 年 3 月策定)

環境と経済の好循環を基本に、3 R による廃棄物の発生抑制(リデュース)、廃棄物を資源として循環する資源循環(再使用:リユース、再資源化:リサイクル)や新エネルギーの利用を促進するもの。

2 「市原市地球温暖化対策 地域推進計画」

(平成20年2月策定)

家庭や事務所といった民生系の二酸化炭素を平成14年度の発生量より平成22年度中に10%削減する計画。

一人1日1kgの削減をするため、6つの施策 環境学習の推進 エコライフの推進 ごみ減量の推進 車の使い方 緑化の推進 新エネルギーの導入と、3つの行動 理解する 行動する 普及する を基本原則に進め、市民、事業者、市が協働で取り組むもの。市は、啓発に努めているほか、太陽光発電システムを設置する市民に補助金を交付し、普及を促進しています。21年度からは、国の補助金が復活することから、普及が促進される見込みです。

3 「市原市バイオスタウン構想」(現在策定中)

市内に豊富に存在するバイオマスを活用し、地球温暖化防止や資源循環型のまちづくりの推進を図るもの。

市を4つの利活用ゾーン ハイテク(コンビナート) アグリ(農地) ウッド(山間地) フラワー(市全域)に分け、メタン発酵によるバイオガスをエネルギーとして利活用することや、バイオディーゼル燃料製造と利用(鉄道・バス・トラック等) 炭化・堆肥化による利用など様々な利活用を推進します。

4 「市原市環境学習基本方針」(平成20年2月策定)

家庭・学校・地域・NPO(市民公益活動団体)・事業者・行政などの主体が自発的に参画し、「環境を自らの課題ととらえ、その解決に向けて行動できる人づくり」を目指します。

平成20年度で15回を数える「エコフェアいちほら」、今年度から始めた「こども環境サミット」、5校に設けられた「ピオトープ」など、教わることから、参加し体験する学習に変革しています。

この他、出前授業「おでかけくん」でも地球温暖化やごみ減量など様々なプログラムを用意しています。

5 「市原市一般廃棄物処理基本計画」

(平成19年度改訂)

平成19年度では、一人1日1,100g排出している一般廃棄物を平成27年度に900gに減量、チャレンジ目標では、850gに減量する計画です。

財政面から見ても、福増クリーンセンターでのごみの焼却費用が20~25億円程度かかっており、ごみ減量は相当な節約(節税)ができ、温暖化防止にも貢献できることとなります。

ごみ端会議(市民団体)、リサイクルフェアなどによる啓発に取り組んでいる他、マイバッグ運動の展開、生ごみ処理機及び肥料化容器の普及促進のため補助金を交付し、ごみ減量に取り組んでいます。この他、高度処理合併浄化槽の設置を促進するためにも補助金を交付し、水質浄化に取り組んでいます。

市の様々な取り組みは、市内在住・在勤・在学の10人以上の団体には、前出の「おでかけくん」による出前講座にお伺いしてご説明いたしますので、お気軽にお申し込み下さい。全81講座、環境部門では、11講座を用意しております。

リーフレットや申請書は支所や公民館のほか、おでかけくんメニューは下記アドレス

http://www.ichihara-chb.ed.jp/board/socialedu/syougai_p/odekakekun/odekakekun_menu.html

申請書は、下記アドレスからもダウンロードできます。

http://www.ichihara-chb.ed.jp/board/socialedu/syougai_p/odekakekun/okdekakekun_mousikomi.html

ニコニコ・ソーリーボックス

藤谷会長・小川幹事

お蔭様で半期無事終了いたしました。ありがとうございます。皆様、よい新年をお迎え下さい。

小池会員

社会奉仕委員として「市原市の環境」について環境部長の大沢様に卓話を頂くことが出来、理解が深まりました。大沢様、石川様に感謝致します。

三宅会員

今年は年間稼働人員が最大で一年を終えますが無事故無災害で終了そうです。感謝をこめて。

事務局 永野さん

今回は義母の葬儀のため、例会を欠席し、ご迷惑をおかけしました。

出席報告

前々回確定 74% 本日出席者 36名 欠席者 14名
本日出席率 72%